



雲青き

さいたま市立大成中学校 学校より

令和5年12月5日



人にやさしく たくましく生きる 大成の子

校長 浅野 克裕

早いもので、令和5年も残りひと月となりました。大成中学校の2学期を振り返ってみますと、残暑厳しい状況ではじまり、新人体育大会、生徒会役員選挙、市駅伝競走大会、合唱コンクール、全校三者面談などの様々な行事が実施されました。通常の生活に、ほぼ戻ってきたとはいえ、ここ最近ではインフルエンザが流行し、本校でも学級閉鎖等の対応をしてきました。その影響もあり合唱コンクールでは、後日、大成小学校体育館をお借りして1・2年生の発表をしました。今年度も生徒たちは、多くの行事を通して、仲間の大切さや仲間と協力してひとつのことを成し遂げる素晴らしさや達成感を味わい、学んだことと思います。

通常の生活に戻ってきたのは、学校だけではありません。地域の活動も以前のように戻りつつあります。大成各地区の夏祭りや盆踊り、運動会やグランドゴルフなどの体育関係行事や公民館の文化的イベントなど、大成地区の様々な行事が再開されています。そのような中、学校運営協議会（コミュニティスクール）で、昨年度から検討していました「地域で子どもたちと取り組める行事」として、11月22日にクリーン活動を実施しました。これは、学校運営協議会で掲げた

～大成地区の育てたい子ども像～ 「人にやさしく たくましく生きる 大成の子」

に基づき、準備してきた取組です。

活動当日は、天候にも恵まれ、多くの地域の方々の参加のもと、大成小学校6年生児童、大成中学校生徒会と美化委員の合計250名程で、小・中学校敷地内のクリーン活動を行いました。普段は、なかなか機会がない子どもたちと地域の方々とのコミュニケーションの場ともなり、短い時間でしたが貴重な時間となりました。今後、さらに学校評議員会で、大成地区の子どもたちと学校は、地域の方々と何ができるのか？何をすべきか？などを検討していきたいと考えております。

10月末から放課後の時間を利用して、3年生との校長面接が始まりました。毎日6～8名程度行い、12月中旬ごろまでに、3年生全生徒との面接を実施する予定です。今回の面接は、入試用の面接ではなく、3年生生徒が、中学卒業後の進路のことや将来の自分のことをどのように考えているのかなどを知るものです。面接を行って、毎年共通しているのが、スマホなどの使用時間の多いことです。勉強以外に使用する時間が平日3～4時間と回答する生徒が多く、その時間を入試の勉強時間にあてて欲しいなと思ってしまいます。

正門の花壇に植えていただいたパンジー →



《生徒の皆さんへ》

様々な活動が、コロナ禍以前のように戻りつつありますが、まだまだ安心できません。インフルエンザの流行の心配もあります。年末年始、クリスマスや正月などイベントも待っていますが、体調が悪い時には、決して無理はせず、早めに治してください。頑張りが必要ですが、無理はよくありません。栄養を摂り、体力を付け、抵抗力のある身体を作りましょう。

《保護者・地域の皆さんへ》

次第に活気が戻って参りましたが、保護者・地域の皆様におかれましては、御身体に充分気を付けてお過ごしください。新しい年も大成中学校の生徒たちをあたたく見守っていただきますようお願いいたします。